

# 新淀生コンクリート(株) はコンプライアンス違反 を直ちに是正しろ



高所作業においてノーヘルメット・ノー安全帯

新淀生コンクリート(株)(以下、新淀生コン)は、本年8月29日兵庫県西宮市上田東町にあるハウスメーカーの現場、兵庫県西宮市桜町にある株式会社モレスの住宅基礎の現場や民間現場等々での労働安全衛生法に抵触する恐れのある行為を行っていました。また、現場付近で荷卸し後、生コン洗浄水を道路側溝へ不法に投棄していました。他人にはコンプライアンス遵守(企業などが法令や規則を守ること)と

言い、自分達に関係する事業者はコンプライアンスは守らなくても良いという、身勝手な言い分がこの程のKURS(近畿生コン関連協議会)に寄せられた情報によって明らかになりました。連帯労組関生支部が事実上所有し運営している新淀生コンにおける生コン販売や生コン搬送の実態は、関生支部がこれまでコンプライアンス活動と称して行ってきた「違法・脱法行為」の告発等々の内容とは正反対なことを行っているのです。新淀生コン社での「安全な生コン販売」また生コン荷卸しや高所作業におけるノーヘルメット、安全帯未着用や生コン洗浄水の道路への投棄等々、関生支部がこれまで建設産業やセメント生コン業界において「労働者に危険な作業をさせるな」「労働安全衛生法をまもれ」と生コン事業者にもコンプライアンス遵守と言っ

てきたこととは、相反する行為を繰り返しているのです。他人の行為は違法・自分たちの行為は正当本末転倒とは関生支部のことである。これまで関生支部組合員にコンプライアンス活動といつて調査させ、ターゲットとしてきた生コン事業所へコンプライアンス違反を是正しろ、労働者に危険作業をさせるなと声高にいつてきました。



路上で洗浄する生コン運転手

# コンプライアンス活動の大義を放棄し 告発してきた内容を自ら実践する 新淀生コン＝連帯労組のあきれた所行



2011年発行の「法令遵守を求めるニュース」

生コン事業社や建設現場への労組活動をどのように正当化するのか？自らの組合員や新淀コン社に対してコンプライアンス遵守はどこに行ったのか？

関生支部のコンプライアンス活動とは、自分たちの活動を支持せず意に沿わない生コン事業社には、徹底して様々な攻撃を繰り返してきました。

彼らは躍起にならなくなって市民運動と称して生コン

事業社に「団結権を侵害」

するな「労組法」を守れ

などと言っていますが、これらはこうした活動を正当化するための方便でしかありません。

言っていることとやっていることとの矛盾

目的のためには手段

を選ばずは常套手段

関生支部はこれまで、セメント生コン業界や建



路上で袋洗浄する生コン運転手

設産業における「業界秩序の確立」によって国民・市民の財産を守ることに

ある。また生コン業界におけるアウト社の安売りが生コン価格の下落を招き、業界混乱が生じるとしてきました。

アウト対策の一環として行われた「コンプライアンス活動はアウト社を生コン協同組合に加入させる目的だ」とした「大義」の下、コンプライアンス活動は「私たち関生支部が指摘して是正させた法令違反は正当な労組活動だ」としていました。

しかし、実態は真逆であることが今回明らかになったのです。

例えば2011年に連帯関生支部などが発行した『法令遵守を求めるニュース』には労働安全衛生法などを引用し高所作業や道路での洗浄行為を徹底して告発してきましたが、現在その様な行為を実質連帯労組が運営する新淀生コンが搬入現場において平然と行っているのです。

武委員長時代「人の痛みは我が痛み」と言ってきたものの、「企業の社会的責任」を言うならば、法令や規則を自らを守ってこそ他者に対して説得力を持つのではないのでしょうか。

自らの姿勢を顧みず、自己主張ばかりに終始する関生支部の行動は、独善的行動でしかなく、社会的支持は得られないのではないのでしょうか。